
最高の仲間

Y

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
最高の仲間

【Nコード】
N6329B

【作者名】
Y

【あらすじ】
弱小野球部。勝利を目指して頑張った日々。しかしそれ以上の何かを得る。そんな物語。

弱小野球部。どこにでもある弱い野球部。でもそのメンバーは純粹に野球が好きだった。

毎日何時間も練習。来る日も来る日も練習。しかし勝てない。次第にバラバラになっていくチーム。

「もうやめないか。こんだけやって勝てないんだったらもうやる意味ねーよ」1人が言った。

「バカヤロー！」そいつを殴るキャプテン。

「お前そんなでいいのか。こんな簡単に諦めていいのか！お前の野球に対する気持ちはそんなもんなのか！」泣きながらキャプテンが言った。

「そうだ。このくらいで負けてたまるか。」他のチームメイトも続けた。

この日以来チームはかわった。これまで以上のハードな練習。毎日泥だらけになりながらがんばった。みんなただ野球が好きだから。仲間が大切だから。

そして最後の大会が近づいてきたある日事件は起きた。「なんだって。キャプテンが事故に？」キャプテンが練習にむかう途中交通事故にあったのだ。

怪我は左足骨折。大会はもう無理だった。

精神的支柱だったキャプテンの怪我…。

「もう俺たちダメだな。」次々と口にする。そんな時

「もうやる意味ねーよ！」と以前言ってたやつが立ち上がった。

「やってやるおじゃねーか。キャプテンの分まで俺たちががんばればいいだろ！キャプテンは野球したくてもできないんだよ。俺たちはできるんだ。やるしかねーよ。」

「そうだな。こんなとこで落ち込んでてもしょうがねえな。よしキャプテンの分まで俺たちががんばるぞ」

「うぉー！！」

そしていよいよ最後の大会が始まった。相手は強豪。

「いいか。俺たちは精一杯やってきた。絶対勝てる！自分を信じる！仲間を信じる！！いくぞ！」

「よっしゃ！！」

プレイボール。いよいよ始まった。しかしやはり相手は強豪。

実力の差は明らかだった。どんどん点差が離れていく。結局8対0で負けてしまった。

悔し涙を流す選手達。しかしキャプテンだけは涙を流さず、みんなを慰めていた。本当は一番つらいはずなのに。

最後にキャプテンが言った

「お前らありがとう。本当にありがとう。俺このチームのキャプテンでよかった。こんなにいい仲間に恵まれて、大好きな野球ができて。」泣いていた。今まで我慢していたものがふき出したのだ。

弱小野球部。勝利は手にできなかったがこのチームは勝利以上の大切なものを手に入れた。最高の仲間というかけがえのないもの……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6329b/>

最高の仲間

2011年2月1日19時00分発行